

研究課題：軍事リスク問題の経済学的解明-日本とイスラエルの比較分析

領域番号：

研究種目：国際共同研究加速基金（海外連携研究）

配分区分：基金

研究代表者：筒井義郎 京都文教大学, 総合社会学部, 教授

（概要）

近年、軍事リスクが世界中で高まっている。経済学においては、期待効用仮説でリスクに対して合理的に向き合う行動を説明し、プロスペクト理論で、その行動からどのように乖離する傾向があるかを予測する。本研究課題は、この経済学の視点から、日本が軍事リスクの高まりにどのように対処すべきかを考察する。特筆すべきは、長年この問題に直面してきたイスラエルにおいて軍事リスクについて研究を進めてきた3人の研究者とともに、相互に訪問しつつ研究を進めることである。具体的には、両国においてパネルアンケート調査と経済実験を日本チームとイスラエルチームが共同で準備・実施して、ナショナリズムと女性が軍事リスクの問題に果たす役割に注目して分析する。こうした軍事戦略・政策に対する人々の意識・態度の国際比較研究は、われわれの知る限り存在せず、独自の研究成果を得ることが期待できる。本課題研究の協働チームはすでに、新型コロナ感染問題について、この3年間共同研究を行い、9編の論文を国際査読誌に掲載した実績がある。